

Title	Gallia 58号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2019, 58, p. 136-136
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/72878
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

あ と が き

北村卓教授は、36年間にわたって大阪大学で教育・研究に尽力されました。ボードレール、比較文学、宝塚歌劇に関する多彩なご研究、学内のみならず仏検の運営を通じた日本全国に及ぶフランス語教育の振興、日本フランス語フランス文学会での重職の歴任（現副会長）…。広汎な分野で、いずれにおいても余人をもって代えがたい顕著なご活躍を、かくも長きにわたって継続してこられたことに、心から敬意を表します。今後ますますのご健勝を祈念いたしますとともに、引き続き本会の活動をご指導いただきましようお願いいたします。

北村先生に続いて、来年度（2019年度）末には岩根久教授、和田章男教授のお二人が大阪大学を定年退職されます。そこでこのほど、13名の発起人をもって、三教授の退職記念事業会を創設しました。記念論文集刊行等の諸事業を進めてまいります。本会会員のみなさまにもお力添えいただければ幸いです。事業会の活動等の詳細につきましては、随時大阪大学フランス文学研究室 HP にてご報告いたします（<http://www.gallia.jp/wordpress/>）。

なお、2018年4月、高橋克欣さんが本学言語文化研究科に准教授として着任されました。今後本会の運営にもご協力いただくことと存じます。

ところで、多くの本会会員が編集・執筆に携わった『フランス文学小事典』（2007年、朝日出版社刊）が、このたび改訂されることになりました。膨大な情報を手際よく収めた好著で、私も日ごろ愛用しています。この機会に、一部の項目に加筆するとともに、編集委員会での協議の結果、次の8項目を新たに加えることになりました。ヴォージュラ、『社会契約論』、セゼール、『ナナ』、ナラトロジー、ミストラル、モディアノ、レヴィ＝ストロース。——これら新項目名だけを見ても、本書がいかにも幅広い領域を覆っているかが理解されることでしょうか。新版の刊行は2020年初頭の予定です。

末筆になりましたが、本号執筆者のみなさま、論文査読に当たられた編集委員各位、本号の編集作業に尽力された太田晋介さんと学生委員諸君に篤く御礼申し上げます。

（山上 浩嗣）

GALLIA LVIII

2019年3月1日印刷・3月3日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 和田 章 男

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子